

2021年度 第6回理事会次第

日時：2022年1月23日（日）10:00~

会場：千葉県社会福祉士会事務局会議室

ZOOM 会議

1. 出席者及び資料の確認

2. 開会

3. 会長挨拶

4. 議題

(1) 会長と三役会からの報告

- ・三団体合同研修会について
- ・2021年度決算見込み及び2022年度予算（案）について
- ・日本会の会員管理再委託の取り扱いについて
- ・事務局職員の採用について
- ・関東甲信越ブロック連絡協議会について

(2) 各委員会報告事項に対する質疑

- ・資料を事前送付いたしますので、ご確認いただき、理事会での各委員会からの報告は、重点事項や記載のない内容に絞っていただきますようお願いいたします。

(3) 議事

- ① 負担金規則（規則第5号）の取り扱いについて
- ② 2022年度事業計画（案）について
- ③ 新入会・転入者について

5. 閉会

次回理事会予定 第7回理事会 令和4年3月13日（日）10:00~
場 所 千葉県社会福祉士会事務局会議室
ZOOM 会議

【添付資料】

①別途ダウンロードデータ報告 - 新入会および転入報告：11月12月

②メール添付報告-2021収支予算書(事務局作成補正案)excel表

【理事会報告事項1】

別途報告-2021年度補正予算 事務局(案)を作成した 当初予算との大幅な乖離について各委員会にて確認検討の上、2021年度最終補正案および2022年度最終予算案の作成をお願いする

【理事会決議・承認依頼事項】

①新入会および転入報告：11月12月について、ご確認ご承認をお願いする

参考：

〈定款5条1項より〉

第5条 正会員 社会福祉士及び介護福祉士法（昭和62年法律第30号。以下「法」という。）第28条の規定により社会福祉士の登録を受けた者であつて、千葉県内に住所又は勤務先を有し、本会の目的に賛同して入会した者。

〈定款6条1項より〉

（入会）

第6条 正会員、準会員及び賛助会員として入会しようとするものは、理事会の決議を経て会長（第12条第3項に規定する会長をいう。以下同じ。）が別に定める入会申込書を会長に提出し、総会が定める基準により、理事会の承認を得なければならない。

②日本社会福祉士会より2022年度の会員管理事務委託に関する意向調査が来ており、1月理事会後に報告予定と回答している（理事会資料P3）

2021年度と同じく、会員管理を日本社会福祉士会へ事務委託有無について、ご確認ご承認をお願いする

一般社団法人千葉県社会福祉士会負担金規則

規則第 5 号

<制定>平成 24 年 10 月 28 日

最新改正 平成 29 年 3 月 12 日

(目 的)

第 1 条 この規則は、一般社団法人千葉県社会福祉士会（以下「本会」という。）会員の、会費を除いた負担金について定めることを目的とする。

(定 義)

第 2 条 「負担金」とは、会員が本会の資源を用いて収入を得た場合の、会に対し負担すべき費用をいう。

2 前項にいう「収入」は、暦年ごとに得た課税前の報酬、謝金および委託料を含み、雇用契約に基づく給与、手当、交通費等の実費弁償額および本会事業に関して本会から支出する額を含まないものとする。

3 「本会の資源」とは事務局資源等をいう。

(負担金)

第 3 条 負担金の金額は年間 30,000 円とする。

2 会員は暦年終了後、前年の収入に関して本会に申告し、本会の指定する方法で負担金を納付するものとする。

3 前二項の規定に関わらず、収入額が一定の基準内である場合は、申告と同時に申請することで負担金の一部または全部の免除を受けることができる。

4 前項に規定する収入額の基準および免除額は、次の各号による。

一 収入額が 100,000 円未満の場合、負担金の全額を免除

二 収入額が 100,000 円以上 300,000 円未満の場合、負担金の 3 分の 2 を免除

5 一旦納入された負担金は、本会の責に帰する原因のある場合を除き、本会定款第 11 条の定めによりこれを返還しないものとする。

(会員資格の平等)

第 4 条 この規則による負担金納付の有無を根拠に、総会および理事会における議決権を始めとする会員資格に差を設けてはならない。

(配分委員会)

第 5 条 納付された負担金の用途については、必要な経費を除き、本会各委員会の代表者による配分委員会を設置し、その議決および理事会の承認により、公益活動および会の活動に無償または低廉な報酬で携わった会員への弁償に充てるものとする。

(負担金納付の中断と再開)

第 6 条 負担金が、1,000,000 円以上翌年に繰り越される場合、負担金納付を中断することができる。その場合は本会理事会にはかり、決定するものとする。

1 負担金納付の再開においても、本会理事会にはかり決定するものとする。

(委 任)

第 7 条 この規則に定めるもののほか、申告および納付の方法等必要な細目事項は、理事会において別に定める。

(改 正)

第 8 条 この規則を改廃するときは、総会の承認を得なければならない。

附 則

1 この規則は、本会設立登記の日から施行する。

全て比較結果

	負担金	寄付金	年度合計	負担金・寄付金入金時差引かれる振込手数料	実際配分額	残高	その他振込手数料 残高証明書他	備考	ゆうちょ銀行 専用口座実際残高
平成23年度決算報告 H23.4.1～H24.3.31	1,600,000	308,000	1,908,000	-17,340	0	1,890,660	0		1,890,660
平成24年度決算報告 H24.4.1～H25.3.31	※1 1,760,000	110,000	1,870,000	-17,860	894,570	2,848,230	0		3,742,800
平成25年度決算報告 H25.4.1～H26.3.31	※2 2,090,000	163,000	2,253,000	-21,350	1,271,300	3,808,580	-1,340	証明書発行手数料 振替手数料1件	3,742,200
平成26年度決算報告 H26.4.1～H27.3.31		187,000	2,627,000	-11,000	1,144,620	5,279,960	-3,004	納付書印刷代2件	6,355,196
平成27年度決算報告 H27.4.1～H28.3.31	※3 2,180,000	180,000	2,360,000	-9,530	1,045,148	6,585,282	-14,296	不足年会費10,000が誤って、 ささえあい専用口座に振り込まれた 残高証明書発行手数料 振替手数料3件、納付書印刷代	6,717,594
平成28年度決算報告 H28.4.1～H29.3.31	410,000	46,000	456,000	-2,290	1,177,520	5,861,472	-1,830	残高証明書発行手数料 振替手数料2件他	5,841,002
平成29年度決算報告 H29.4.1～H30.3.31	0	0	0	0	546,000	5,315,472	-2,694	残高証明書発行手数料 振替手数料5件 誤って振り込まれたささえあ い資金は調整した	※4 5,292,308 口座振替が年度跨ぎと なったため資金有り高を表 示
平成30年度決算報告 H30.4.1～H31.3.31	0	0	0	0	960,000	4,355,472	-7,014	残高証明書発行手数料 振替手数料2件他	4,325,294
令和1年度決算報告 H31.4.1～R2.3.31	0	0	0	0	1,020,000	3,335,472	-5,492	残高証明書発行手数料 振替手数料2件他	3,299,802
令和2年度決算報告 R2.4.1～R3.3.31	0	0	0	0	430,000	2,905,472	-3,513	残高証明書発行手数料 振替手数料2件他	2,866,289
合計	10,480,000	994,000	11,474,000	-79,370	8,489,158	2,905,472	-39,183	2,866,289	現在の残高

※1決算報告に合わせて上記訂正

※2平成25年度に関しては決算報告が寄付金0円、負担金収入が2,502,000円(249,000円の計上誤り)なので、上記訂正しない

※3決算報告に合わせて上記訂正

※4ささえあい資金の30年4月1日現在有り高です

負担金寄付金納付割合

	2011年度(H23)		2012年度(H24)		2013年度(H25)		2014年度(H26)		2015年度(H27)		2016年度(H28)		平均割合
ばあとなあ 登録員	57/79名	72%	63/78名	81%	73/85名	86%	90/107名	84%	78/99名	79%	13/20名	65%	78%
その他正会員	22/79名	28%	15/78名	19%	12/85名	14%	17/107名	16%	12/99名	21%	7/20名	35%	22%

2021年3月31日残高

2,866,289

	平均割合	按分後
ばあとなあ 登録員	78%	2,235,705
その他正会員	22%	630,584
	100%	2,866,289

年度	配分金総額		内容	実際配分確認	
H23年度	0			0	
H24年度	894,570	1次	虐待対応チーム専門職チームスタッフ	78,000	
			研修委員会研修スタッフ	102,000	
			夜間巡回ホームレス支援参加者	102,000	
		2次	ばあとなあ	431,890	
			研修啓発	55,500	
			災害対策	38,000	
			ばあとなあ	50,000	
	委員会交通費	37,180	894,570		
H25年度	1,271,300	1次	点と線発行作業、会議	90,000	
			淑徳大学講師	120,000	
			ばあとなあ	361,575	
		2次	高齢者虐待対応チーム	129,300	H24含む
			被災地施設訪問	15,000	
			ばあとなあ受任者面談相談	194,480	
			ばあとなあ	360,945	1,271,300
H26年度	1,144,620	1次	点と線発行作業、会議	81,000	
			高齢者虐待対応チーム	93,000	
			ばあとなあ	792,916	
		2次	被災地施設訪問	25,000	
			研修講師費用	3,000	
			ばあとなあ	120,000	
			委員会交通費	29,704	1,144,620
H27年度	1,045,148	1次	研修講師費用	42,324	
			淑徳大学講師	62,828	60800+648-60800+62180
			ばあとなあ	451,620	
		2次	点と線発行作業、会議	56,432	
			ばあとなあ	431,944	1,045,148
H28年度	1,177,520		ばあとなあ	120,648	
			ばあとなあ	602,916	
			ばあとなあ	431,296	
			委員会交通費	22,660	1,177,520
H29年度	546000		ばあとなあ	548,592	548,592
H30年度	960,000	1次	ばあとなあ	603,240	
		2次	ばあとなあ	361,944	965,184
R1年度	1,020,000	1次	ばあとなあ	542,530	
		2次	ばあとなあ	482,860	1,025,390
R2年度	430,000	1次	ばあとなあ	191,870	
		2次	ばあとなあ	241,540	433,410
配分合計額 (但し福込み手数料含む)	8,489,158				8,072,324 (但し振込み手数料含む)

◇ 千葉県社会福祉士会会長職務執行状況 2021年11月8日～2022年1月22日

【活動報告】

- 11月 10日(木) 船橋市権利擁護推進協議会
- 17日(水) 地域集会-柏福祉道場
- 20日(土) 安房キャラバン前日準備
- 21日(日) 安房キャラバン
- 25日(木) 千葉市ホームレス巡回打合せ
- 12月 1日(水) 福祉と司法の千葉県連絡会
- 2日(木) 千葉県ソーシャルワーカー三団体研修打ち合わせ(ZOOM)
- 6日(月) 社会福祉士会三役会(ZOOM)
- 8日(水) 成田市社会福祉協議会主催研修講師
- 11日(土) 三団体研修会場下見
- 12日(日) 第2回経営戦略会議
- 13日(月) 社会福祉士会第2回選挙管理委員会
- 15日(土) 福祉と司法の千葉県連絡会
- 22日(水) 福祉センター入居説明会
- 1月 4日(火) 福祉と司法がつながる会
- 18日(火) 外国人の生きる権利を考える会
- 20日(木) 社会福祉士会三役会(ZOOM)

◇各種委員会等

【委員推薦】

- 2022年2月1日～2024年3月31日(2年2か月任期) いすみ市社会福祉協議会
法人後見事業運営委員 塚越 立身氏

【講師派遣等】

- 2021年12月10日 龍ヶ崎市 福祉部社会福祉課 龍ヶ崎市見守りネットワーク情報交換会議
講師 山崎 泰介氏
- 2021年12月14日 千葉県社会福祉協議会 千葉県後見支援センター
東庄町 住民向け成年後見制度講演会 アドバイザー 武藤 州範氏
- 2022年1月21日 流山市役所 高齢者支援課 令和3年度流山市高齢者虐待防止研修会
講師 宮間 恵美子氏
- 2022年2月17日 我孫子市社会福祉協議会 市民後見人養成講座 フォローアップ講座
講師 古澤 肇氏

【後援】

- 2022年2月13日 千葉県介護福祉士会 「訪問介護フォーラム2021」後援

◇その他の活動

- 2021年11月30日(火) 日本社会福祉士会 関東甲信越ブロック県士会災害支援連携会議
服部 明氏出席
- 2021年12月26日(日) 日本社会福祉士会
2021年度地域共生社会の実現にむけたソーシャルワーク実践力養成研修
市原 久夫氏、秦野 隆治氏、古澤 肇氏、宮下 朱実氏、長嶋 祐一氏参加
- 2022年1月19日(土) 2021年度関東甲信越ブロック連絡協議会(埼玉県士会)
古澤 肇氏、樽林 元樹氏、及川 哲氏出席予定
- 2022年1月20日(日) 日本社会福祉士会 2021年度事務局代表者会議
樽林 元樹氏、事務局員 出席予定
- 2022年1月25日(火) 市川市役所 障害者支援課、介護福祉課
市川市審判請求対象者検討会 今川 純子氏出席予定
- 2022年1月29日(土)、30日(日) 日本社会福祉士会 実習指導者講習会講師養成研修
神山裕也氏(1/29)、白井正和氏(1/30)、田尻真人氏・佐藤滋洋氏(1月中視聴レポート)出席予定
- 2022年2月10日(木) 佐倉市社会福祉協議会
佐倉市成年後見支援センター運営および受任調整会議 高美 修次氏出席予定
- 2022年2月11日(金)、12日(土) 日本社会福祉士会 2021年度基礎研修講師養成研修
小野寺浩氏、田尻真人氏、竹村葉子氏、矢戸孝紀氏出席予定
- 2022年2月18日(金) 千葉家庭裁判所 家事関係機関との連絡協議会
四ノ宮 章氏出席予定
- 2022年3月1日(火) 千葉県介護保険関係団体協議会 第2回幹事会 谷口 さなえ氏出席予定

**** 会員情報 ****

12月31日現在正会員:1,558名(新入会:6名、転入1名、退会5名、転出1名)、
準会員3名、賛助会員2名

○会員管理業務担当者として日本会への会員管理業務再委託について

会員管理業務は、会員システムを使用し、3年経過した。

年会費引落、会員登録内容変更、ぱあとなあ名簿登録料、受任会費・オンライン受講料引落作業等、引落処理手続き業務をルーティン化しており、特に問題もなく対応できている。

振込希望会員、複数年未納会員、引落不能会員（3回残高不足引落不能会員）年会費徴収等事務局での対応も多く、会員より提出された会員登録内容変更処理を適時行っているが、再委託後は、1か月毎に届く日本会情報を基に変更となるため、会員情報変更が遅れが生じる。（現在は随時千葉会・日本会両方変更可能）

また、会員登録内容変更は、事務局で受付ける場合もあるため、日本会へ転送等を行う必要がある。

ぱあとなあ受任会費引落データは、4月末までの送信が必須であるが（日本会へ確認）、ぱあとなあ受任会費の個別引落金額の決定には時間を要する（P2-12行目※参照）ため、この件は委託ではなく、直接事務局から代金回収委託業者（三菱UFJファクター）への引落業務処理となる。

日本会へ業務を再委託となった場合でも、会員管理業務40%位は事務局での業務となるのではないかと推測されるため、このまま会員管理は事務局業務として行う方が良いのではないかと推測される。

再委託にかかる費用、再委託することにより軽減される業務内容及び業務量については、以下の通り。

①再委託にかかる費用の試算

【会員管理】

綱紀以外の2事務を委託した場合（入退会事務委託手数料・新入会グッズ費用）

前年度の新入会数×@5,000円×2/3

2021年度新規入会者93名×5,000×2/3=310,062円

委託なしの場合：-新入会セット@1,000×93人=93,000円（新入会員数×@1,000円納入）

310,062-93,000=217,062円

【ぱあとなあ名簿関係の登録料の徴収事務】

ぱあとなあ名簿登録者数×@200円

311人×@200円=62,200円

以上により、委託する場合の費用見込額は217,062+62,200=279,262円

②再委託することにより、軽減される業務内容及び業務量、業務内容とそれに要する時間を試算

【会員管理】

入会案内作成・発送作業（メール返信含む）例年約200通発送事務局発送

1通20分×100通=34時間（委託後千葉県社社会へ直接申込対応（100通見込み）100通分軽減）

入会案内発送料@100×（200-100）=10,000円不要

会費徴収作業（自動引落のみ）=30時間

会員登録内容変更・転入・転出・退会作業（会員管理システム）=30時間

【ぱあとなあ】

名簿登録料徴収作業（自動引落のみ）=7時間

③再委託後も必要な作業

【会員管理】

会員管理業務全体の40%位の業務

会員登録内容変更・退会情報を日本会事務局に連絡（パスワード付PDF・住所変更一覧表等にて送信）

日本会情報を基に、千葉会登録内容（筆まめ）会員登録内容変更（変更が正しくできているかチェックも必要）

会費徴収状況確認・千葉会データ更新・領収証発行等

振込希望会員（16名）・引落不能会員（3回残高不足引落不能会員：10名）・複数年未納会員（11名）の会費徴収年会費領収証作成（19名）

退会・転出・転入処理（筆まめ処理・日本会へパスワード付PDFにて送信）

【ぱあとなあ千葉311名（2021年度284名）】

受任会費・オンライン受講料引落作業（会員管理システムにて自動引落・振込請求手続き）

日本会で4月末までにエクセル表で個別引落額等を提出できれば6/27ぱあとなあ登録料と同時に引落可能

・受任会費・オンライン受講料について※

受任会費

1月31日現在の受任件数で受任会費を計算

（全登録員より提出された2月報告書、受任案件に関する除外申請書を基に計算し、4月発行ぱあとなあニュースに受任会費通知書同封し、登録員へ周知・確認（5月末期限）、7月発行ぱあとなあニュースに受任会費決定通知書同封し、8月27日自動引落）

オンライン受講料

前年度オンライン研修参加状況を集計

（7月発行ぱあとなあニュースに研修参加費決定通知書同封し、8月27日自動引落）

事務局では、受任会費・オンライン受講料が確定後会員管理システムにて引落処理（270名）

振込希望登録員（5名）・年会費・登録料未納登録員（9名）へは、振込用紙作成し徴収処理

日本会指定の4月末までに受任会費・オンライン受講料個別引落額等エクセル表提出が、日程が間に合わない為、2022年度再委託の場合、事務局にて代金回収委託業者（三菱UFJファクター）より引落処理で対応する事になる。

事務局にて代金回収委託業者（三菱UFJファクター）より引落処理で対応する場合

三菱UFJファクターへ以下の書類提出が必要

会員年会費引落：千葉会から日本会へ引落者変更の書類、

ぱあとなあ受任会費・オンライン受講料引落：千葉会独自 媒体の変更契約書類

事務局負担引落手数料1回5,000円 登録員負担引落手数料：121円（現在の手数料と変更なし）

会員管理システム引続き利用可能状況

【閲覧不能】

・口座情報欄

【閲覧可能・変更不可】

・会員登録情報

その他の欄は引き続き利用可能

【報告事項】

点と線発行の進捗

12月22日 編集会議

【内容】

- ・特集記事「ソーシャルワーカーが影響を受けた一言」1月5日 オンライン座談会→
- ・あり方検討委員会報告（見開き2頁）
- ・拡大地域集会報告

【発送】

- ・会員宛て（1068通）発送
 県社協（54通）、県社協研修センター入館団体（20通）、養成校（8校）配布
その他の関係団体（866通）※令和4年度から廃止 ※広告料24,000円値下げ？

【今後の予定】

	108号
原稿締切	1月上旬
入稿	2月上旬
同封物原稿締切 事務局へデータ入稿	2月末
発送	3月下旬

【協議事項】

●会員への情報配信のツールについて

- ・予算ヒアリングで、事務局長からメール等への切り替えによる通信コストの削減投げかけへの検討
- ・令和4年度は会員宛ての点と線、研修チラシ等の同封の上記の仕組みは維持
- ・令和5年度から新システムに切り替えるか？
- ・ICT関係の取り扱い 事務局業務？
 メールでの配信 会員の38%
 → メールから切り替えるのか？
 → 名簿確認時に周知、LINE？メール？
 → 各委員会の研修等の案内は？

企画部会

【報告事項】

ア、世話人会義（企画部会義含む）

《予定》2月11日世話人会（企画部会含む）開催 テーマ：次年度体制、地域共生社会実現に向けて

- ① 次年度部会員名簿更新（部会の活動、地域集会を手伝う人材に刷新）
- ② 若年層支援と連動した地域集会アイデア出し
- ③ 集会情報の原則メール配信化（事務局発信、地域発信、切手等は一年間だけ残す）
- ④ 地域集会についての「根本議論」：地域会員の把握、ネットワーク化、人材バンク機能付与を投げかけなど意見聴取
- ⑤ 世話人不在地区、集会未実施地区の解消策として隣接地区との合同開催やツアー提案

イ、地域集会

《実施》

- ・ 拡大地域集会・生活支援コーディネーター編 11月28日（日）13:30～16:00ZOOM
- ・ 千葉市緑区地域集会 11月19日（金）18:45～20:30ZOOM 生活困窮者への支援、意見交換会
- ・ 第八十六回『福祉道場』11月17日（水）19:00～21:00 ZOOM【乱取り～渋沢茂師範編～】
- ・ 第八十七回『福祉道場』1月19日（水）19:00～21:00 ZOOM【辞典道場】～気になる言葉

《予定》

- ・ 印旛合同地域集会 1月22日（土）10:00～12:00『コロナウイルス流行から私達が学んだもの①』
- ・ 第八十八回『福祉道場』3月16日（水）19:00～21:00 ZOOM
ジェーシー赤マル福祉の協力でチラシ配布

《課題》

- ・ 地区No.⑧千葉市（稲毛区、美浜区）、世話人不在→他区でカバー。地区割変更、合区化案あり。
- ・ 地区No.⑩船橋鎌ヶ谷→世話人辞任→服部理事就任（⑨千葉市花見川区、習志野、八千代と兼務）
- ・ 世話人不在地区（1つ）：⑤木更津、君津、袖ヶ浦、富津地区
- ・ 今年度集会未実施地区5つ：①旭、香取、匝瑳、香取郡、銚子、③茂原、いすみ、夷隅郡、勝浦、長生郡、④安房郡、鴨川、館山、南房総、⑤木更津、君津、袖ヶ浦、富津、⑩船橋、鎌ヶ谷

ウ、他職能団体との協働研究

①ソーシャルワーカー3団体協働事業

- ・ 千葉県ソーシャルワーカー三団体連絡協議会シンポジウム「子ども・若者の支援」1月30日（日）13:30～17:00 千葉市生涯学習センター小ホール ZOOM100名＋会場40名 チラシのとおり。

②福祉と司法の千葉県連絡協議会

- ・ 日本弁護士連合会から、3月の自殺対策強化月間に開催する「自殺対策強化月間における全国一斉『暮らしとこころの相談会』」への協力依頼があり。服部理事が参加・協力表明。
- ・ 12月1日福祉と司法の連絡協議会～働くことも生活保護受給も禁じられ困窮する外国人のケース報告があり、有志により急遽外国人の生きる権利を考えるシンポジウム開催し、不当性を広く世間にも訴えていくことになった。
- ・ 「貧困問題に関する懇談会」1月28日（金）18:30～20:00Zoom（上記の説明もある）理事連絡メールですでに伝達済み。

③スクールソーシャルワーカー関連

- ・ 11月28日神山、能田2名が日本会のSSW実践アドバイザー養成研修に参加
- ・ 上記①シンポジウムに宮間（シンポジスト）、神山（モデレーター）として登壇 チラシ参照

エ、その他

- ・ 日本会主催「地域共生社会の実現に向けたソーシャルワーク実践力養成研修（講師養成研修）」12月26日（日）10:00～17:15 形式Zoom。事前にEラーニングを視聴した上で市原理事、宮下理事、（長嶋理事）とともに参加した。次年度、千葉県下の会員へ伝達する方法を検討する。新カリキュラムに対応した研修であり現任社会福祉士はアップデートしておく必要がある。研修委員会へ伝達済み。

【検討事項】

千葉県社会福祉士会から会員へのメール配信について

- ・ 予算ヒアリングの中で、コスト削減のために地域集会DMの切手代等と事務局のラベル作成の作業を無くすこととなった。
- ・ メールでの情報受取りについては、会員の意思確認を前提としたい。
- ・ 3月の『点と線』の発行の際に、地域集会の案内は、点と線メール受信者に対してのメールとなる旨を通知する予定。

（課題）

- ・ 事務局管理のメーリングリストに、地域集会情報配信用を作成することを検討したがすでに、事務局としてはリストの増設は負荷が大きい。
- ・ 地域集会の開催案内の事務局からのメール配信は、『点と線』をPDFで受け取る登録をしている会員にのみ送っているため、38%の会員にしか届いていない。
- ・ 地域集会に限らず、日本会からの情報、他団体との共催イベントの情報、災害対応時の情報など会員にとって重要な情報も受け取りについても同様であり、部会内にとどまる課題ではない。

【理事会決議・承認依頼事項】

なし

ヤングケアラー
貧困
障がい
生きづらさ
孤食

千葉県ソーシャルワーカー 三団体連絡協議会 プレゼンツ

子ども・若者の支援

限られた分野の支援ではなく子ども・若者の
生きづらさは「大人」「世帯」「社会」の問題



<ソーシャルワーカーへの問い>

我々はどのように出会い、かかわりつなぐのか、その前につなぎ先はあるのか…

児童虐待相談対応件数は20万件超と過去最多を記録、30年連続増加する中、児童相談所に勤める専門職の多忙さは想像に難くなく、子ども家庭福祉士という国家資格化の動きもみられます。また、児童虐待とは一概には言えないと思われるヤングケアラーという言葉も報道の力もあり定着されたこの頃です。これらの状況下、我々ソーシャルワーカーにとっても、改めて制度の不備や狭間の課題が問われているのではないのでしょうか。今回は見過ごされがちな「10代の支援」を軸に据え、各会会員の実践や国の動向等が学べるよう企画いたしました。パネルディスカッションも行いますので自己の支援観の深化や日々の業務の実践力向上につながる時間にしたいと思います。

開催日時 2022年／1月30日（日）
13:30～17:00

基調講演

『子ども・若者を取り巻く現状について』

胡内 敦司 氏（元松戸市子ども部審議監）

ZOOM
会場

ZOOM定員100名
会場定員40名

参加費
無料

✓実践報告

宮間 恵美子 氏 宮間社会福祉合同事務所／千葉県社会福祉士会
千葉県スクールソーシャルワーカー

木脇 和利 氏 国保旭中央病院 / 千葉県医療ソーシャルワーカー協会

桑田 久嗣 氏 松戸市中央基幹相談支援センターCoCo / 千葉県精神保健福祉士協会

✓シンポジウム モデレーター 神山 裕也 氏

会場 千葉市生涯学習センター小ホール/千葉市弁天3-7-7

新型コロナウイルス感染症の感染状況によりZOOMのみとなる可能性もあります。

申込先 <https://forms.gle/fpryKQRhtqZMdxGK6> ZOOMのURLは後日送信します。
二次元バーコード以外でお申込みの方は下記の間合せ先へメールしてください。



二次元バーコード

〔主催〕 千葉県ソーシャルワーカー三団体連絡協議会

（構成団体：一般社団法人千葉県社会福祉士会、一般社団法人千葉県医療ソーシャルワーカー協会
一般社団法人千葉県精神保健福祉士協会）

〔本件問合せ〕 千葉県社会福祉士会 ☎043-238-2866 hiramekutoki@gmail.com

研修委員会

【報告事項】

1. 活動報告

(基礎研修)

基礎研修Ⅱ※いずれも ZOOM で開催

R3. 11. 14 (日) 第7回 講師 石山明子

R3. 12. 5 (日) 第8回 講師 竹村葉子

R4. 1. 16 (日) 第9回 講師 石山明子

基礎研修Ⅲ※いずれも ZOOM で開催

R3. 11. 13 (土) 第7回 講師 立川大輔

R3. 11. 27 (土) 第8回 講師 立川大輔

R3. 12. 11 (土) 第9回 講師 立川大輔

R3. 1. 15 (土) 第10回 講師 浅見雅人

(実習指導者養成研修)

R2. 11. 20 (土) 21 (日) 於：千葉県経営者会館

講師 丸昌、浅見雅人 参加者 30名

(会議)

次年度の活動・委員会活動の組織化に向けて、コアメンバーで意見交換を実施

(R3. 11. 15, 11. 29, 12. 13, R4. 1. 12 開催)

1. 基礎研修Ⅰ～Ⅲについて

1) 次年度基礎研修Ⅰ～Ⅲオンライン開催を決定。

基礎研修Ⅰ：全2日間※一部 e ラーニングを活用。

基礎研修Ⅱ：全10日間

基礎研修Ⅲ：全11日間

令和3年度より、日本社会福祉士会の e ラーニングで全科目配信されているが、令和4年度については、e ラーニングと演習、日本社会福祉士会生涯研修センターの方針等踏まえ、開催方法を継続検討。令和5年度の運営につなげていく。

2) 基礎研修Ⅰ～Ⅲの受講費用について

・費用の変更については、見送り

理由：e ラーニング活用方法や資料送付方法についての検討中であるため

3) 日本社会福祉士会主催、令和3年度基礎研修講師養成研修に5名を推薦。

(開催日時：令和4年2月11日、12日) ※受講費用は、自己負担

2. 社会福祉士実習指導者養成研修講師について

次年度からの社会福祉士養成課程カリキュラム変更に伴い、社会福祉士実習指導者養成講師研修が日本社会福祉士会によって開催されることから、4名推薦。

(開催日時：令和4年1月29日、30日) ※受講費用は、自己負担

3. その他

1) 研修資料の送付方法について

- ・送料軽減のために、配付資料を現在、郵送以外の方法での配布を検討。
- ・Google ドライブ、OneDrive、HP の特別ページからのダウンロード等、管理設定上の技術的な課題の検討が必要。(※会の方針や体制を確認したい)

2) 委員会業務及び事業についても検討継続中

- ・委員会の組織化(業務集中の解消、効率的な運営、事務局との連携等)
- ・事業について：国家試験対策講座、この指止まれ等

以上

ばあとなあ千葉

【添付資料】

なし

【活動報告】

2021 年度第 6 回運営委員会【2022 年 1 月 13 日（木） 16：00～18：15 分（ZOOM）】概要

◆出席者（運営委員（12 名/15 名）：今川・越後谷・太田・小川・朽名・倉下・佐野・四ノ宮
長尾・古澤・武藤・吉田

I 報告・連絡事項

□部会・担当報告

- ・委員長：第 5 回理事会（11 月 7 日）の概要報告（報酬助成規程改正の承認、経営戦略会議の設置、2022 年度予算のヒアリング等）。
- ・研修：2022 年度の必須登録員研修、千葉サポート、人材育成研修等、各研修の開催予定等報告。
- ・コーディネート：12 月末での推薦依頼件数（約 400 件、前年度に比べ大きく増加）等報告。
- ・業務管理：個人面談の実施状況、2 月の活動報告関連の新書式等報告。
- ・報酬助成：第 2 回審査会の報告（報酬助成規程改正を受け、第 1 回審査会での保留案件 5 件、新規申請案件 6 件を審査。申請期限を越えていた 1 件を除く 10 件を可。報酬助成額の上限を家裁審判額にすべきとの問題提起あり）。
- ・ICT 関連：ばあとなあ千葉専用のメールアドレス開設等、準備中。

II 議事

1 報酬助成申請案件の助成可否の審議

- ・前回保留分を含め申請案件 11 件の助成可否、報酬助成額を審議・決定→10 件助成可、1 件却下（申請時期が、申請期限（家裁審判後 1 年以内）を越えていたため）
- ・報酬助成額について、報酬助成審査会の問題提起を受け、家裁審判額を上限とするか否か今後検討していくこと確認する。

2 今後のばあとなあ千葉の運営事務及び財源について（委員長提案、継続協議）

- ・運営委員長より、最近の後見人等の推薦依頼件数、受任件数の増加に伴う運営事務量の増加に対し、運営事務の見直しとともに、運営事務経費（人件費等）の増大に対する財源確保方策として以下の提案があり、今後、広く議論し、検討していくことに。
- ・「受任会費」の用途の拡大（現在は、報酬助成に限定。これを後見人等受任に関わる運営事務費用にも充当可とする）。
- ・「受任会費」納付の上限の撤廃（現在は、従来の「負担金」を踏襲し、30000 円（受任件数 15 件×2000 円）を納付額の上限としている）。

3 登録員に対する相談支援体制について（委員長提案、了承）

- ・週 2 回の電話相談は継続するが、これに加え、メールで相談申込を受付け、曜日・時間帯を柔軟にした形の電話相談体制を創る試みをスタートする。

以上

【添付資料】

参考資料 無し

【報告事項】

1、2021年度 Zoom 研修「刑事司法ソーシャルワークの実務・応用編」を開催予定です。

日時：1月22日（土）12:50～18:20

1月23日（日） 9:00～17:10

2、第3回司法福祉委員会開催予定

日時：2月19日（土）10:00～12:00

議題

① 研修

「刑事司法ソーシャルワークの実践・基礎編及び応用編」Zoom 研修の報告。

② マッチング支援について

2021年度の報告

③ 学習会

2021年度の報告

④ その他

2022年度の予定

3 沖縄社会福祉士会リーガルソーシャルワーク委員会への Zoom 会議参加報告

日時：1月18日（火）19:00～20:20

参加者：宮下、大浦、吉田

沖縄社会福祉士会リーガルソーシャルワーク委員会長の白石さんから、入口支援を立ち上げるにあたり千葉県司法福祉委員会参加から参考意見を聞きたいとの依頼があり参加した。

【理事会決議・承認依頼事項】

なし

【添付資料】

なし

【報告事項】

○埼玉県社会福祉士会『災害時ソーシャルワーク委員会研修』にて活動報告

報告者 服部明災害対策副委員長

日付 令和3年12月11日（土）

内容 2019年台風15号などに対する災害支援活動

※ 報告に使用した資料は事務局で保管してあります

【理事会決議・承認依頼事項】

なし